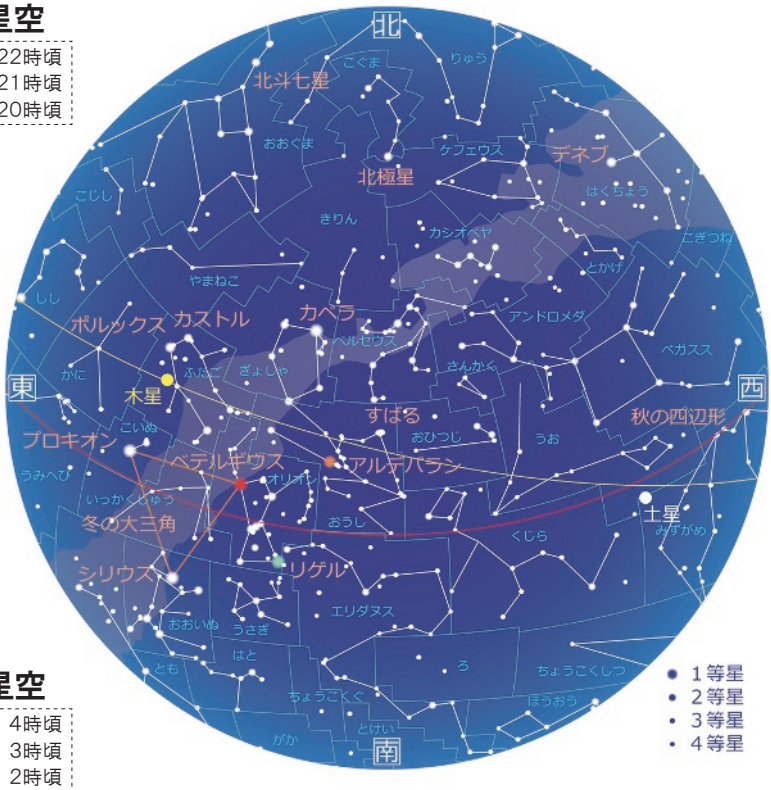
星空ガイド　12月16日～1月15日

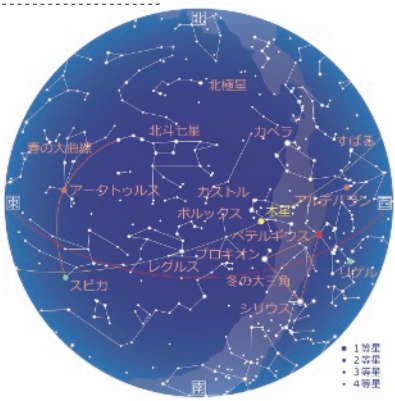
よいの星空

12月16日22時頃
1月　1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

12月16日　4時頃
1月　1日　3時頃
15日　2時頃



※惑星は2026年1月1日の位置です。

［太陽と月の出入り（大阪）］

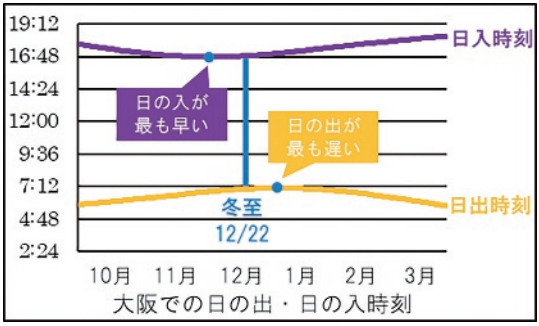
月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
12	16	火	6:58	16:48	3:26	13:52	25.8
	21	日	7:01	16:51	8:06	17:35	1.1
	26	金	7:03	16:53	10:56	22:47	6.1
1	1	木	7:05	16:57	14:25	4:35	12.1
	6	火	7:05	17:01	20:14	9:14	17.1
	11	日	7:05	17:06	0:19	11:26	22.1
	15	木	7:04	17:10	4:14	13:42	26.1

冬至の日の入は最速にあらず

昼が短く夜が長い冬ですが、一年のうち昼が最も短い日は冬至と呼ばれます。今年の冬至は12月22日。この日には、ゆず湯に入ったり、カボチャを食べたりするかもしれません。

ところで、冬至の日に太陽は最も早く昇り、最も早く沈むと思っている人も多いのではないでしょうか。では実際に、前ページの[太陽と月の出入り(大阪)]で確かめてみましょう。

冬至に最も近い12月21日の日の出の時刻は7:01、日の入の時刻は16:51です。しかし、日の出が最も遅い日は、それからしばらく経った1月1日～1月11日頃で、時刻は7:05です。一方、日の入が最も早い日は12月16日か、それよりも前のようです。つまり、冬至の日に、日の入りが最も早くなったり、日の出が最も遅くなったりするわけではないのです。



大阪での日の出・日の入時刻

右のグラフは、大阪での日の出・日の入時刻を表したものです。これを見ると、日の出が最も遅い日は冬至の半月後(1月上旬)、日の入が最も早い日は冬至の半月前(12月上旬)であることが分かります。

このように、普段当たり前に思っていることも、常識を疑いながらしっかりと観察をしてみると、本当は違ったということがあったりします。冬至近くになったら、お住まいの場所の日の入時刻を記録してみるのはいかがでしょうか。

三田村　耕平(科学館学芸スタッフ)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
12	17	水	月が今月最遠(15時・406311km) 土星が東矩
	20	土	●新月(11時)
	21	日	海王星が東矩
	22	月	冬至(太陽黄経270°)
	23	火	この頃こぐま座流星群が極大
	27	土	月と土星がならぶ
	28	日	◐上弦(4時)
	31	水	月とすばるが接近
1	2	金	月が今月最近(7時・360183km)
	3	土	○満月(19時) 月と木星とポルックスとカストルが近い

月	日	曜	主な天文現象など
1	4	日	太陽が最近(2:16・1470億km) しぶんぎ座流星群が極大(5時) 月と木星がならぶ
	5	月	小寒(太陽黄経285°)
	7	水	金星が外合 レグルス食(潜入1:11～出現2:13)
	9	金	火星が合
	10	土	木星が衝
	11	日	◑下弦(1時) 月とスピカがならぶ
	14	水	月が今月最遠(6時・405542km)
	15	木	明方に月とアンタレスがならぶ